

市史編さんだより

2009. 3. 3

〒229-0021

相模原市高根 3-1-19

電話 042-750-8025

FAX 042-750-8039

発行 相模原市総務局総務課市史編さん室

ホームページ: <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp>

E-MAIL: shishi@city.sagamihara.kanagawa.jp

相模原の大地を空撮！

2月11日（水）、相模原の大地の特徴がよくわかる20か所を上空から撮影。写真の大半は、相模原の地形を一目で紹介できるように、市史『自然編』に掲載する予定です。



麻溝地区上空から

〰〰〰〰〰 好評発売中！「現代資料編」「現代図録編」 販売書店 〰〰〰〰〰

紀伊国屋書店相模原店（相模大野） ブックスアミ南口店（相模大野） 柴胡書房（文京） ブックス山田（松が枝町）
相模書房本店（相模台） 渡辺書店（相模台） 相模書房女子美術大学店（麻溝台） 久保田書店（千代田） 中村書店
淵野辺本町店（淵野辺本町） 中村書店ダイエー店（上溝） 中村書店本店（横山） 三基書房（田名） 中村書店田名
店（田名） 中村書店橋本店（西橋本） 有隣堂ミウイ橋本店（橋本） カクダイ書店（二本松） 山本書店（津久井町
中野） 敏正堂（相模湖町与瀬） ふじの書房（藤野町小淵）

ある日の調査から～民俗編

2月までに行った民俗編関連調査の中から、いくつかを紹介します。

新戸で酒まんじゅうのお店を営む安藤弘子さんからお話を聞きました。安藤さんは地域の生活改善グループで活動し、そのグループで何か地域ブランドの商品を生み出せないかと思案した中から酒まんじゅうにたどり着き、それを発展させて酒まんじゅうのお店を開いたということです。お店を営む傍ら、神奈川県かながわの「ふるさとの生活技術指導士」として小学校や公民館で酒まんじゅう作りを教えています。



酒まんじゅうを前に話す安藤さん



大勢の方が集まって開催された蚕影講

淵野辺本町にお住まいの石井俊男さん、篁さんご兄弟に、淵野辺の昔の暮らしの様子を伺いました。昭和9年当時の町田の商店街の町並み図を見ながら、当時どのお店に何を買いに行ったとか、毎月二と六が付く日に行われた町田の「二・六の市」へ買出しに行った話なども聞かせていただきました。

相原の華蔵院けぞういん門前の森下公会堂では、養蚕信仰として伝わる大門念仏講中の蚕影講こかげこうを見学させていただきました。皆で念仏に節を付けて唱和する、蚕影講の様子を調査することができました。「昔はこの蚕影講をまるでお祭りのように楽しみにしていて、着物を着て出席した」というお話も聞くことができました。



石井さんご兄弟に聞き取りする様子

編さん室の動き 1月・2月

- | | | | |
|-------|-----------------|-----|--------------------------|
| 1/10日 | 文化遺産部会 | 14日 | 近現代部会 |
| | 社寺事前調査（大島） | 18日 | 社寺事前調査（麻溝） |
| 14日 | 録音奉仕会の市史音訳取材 | 19日 | 法政大学大原社会問題研究所調査（26日にも実施） |
| 16日 | 民俗・蚕影講調査（相原） | 25日 | 神史協研究会（石造物・景観調査について発表） |
| 17日 | 自然編入稿 | 25日 | 民俗聞き取り調査（大野台） |
| 24日 | 民俗聞き取り調査（淵野辺本町） | | |
| 2/10日 | 国立国会図書館文献資料調査 | | |

「耳で聞く市史」

2年半をかけて完成！

～視覚障がいを持つ方のために～

相模原市録音奉仕会は、目の不自由な方のために、本や雑誌の録音や音訳サービスを行っているボランティア団体です。このたび、『相模原市史第1巻～4巻』の録音版を2年半かけて完成させました。



完成したCD



録音奉仕会のみなさん

作業は平成18年7月から開始され、会員15人が録音・モニター（確認）・編集に関わりました。市史4巻約2,800ページ分は100時間に及ぶ録音となり、1巻をCD1枚に収めています。規格は現在普及しているデジタル録音図書「DAISY（デイジー）」方式となっています。

同会によると、今まで録音した本の中でもか

なり的大作で、難解語句が多いなどの苦労があったということです。早速利用を希望された方に渡したところ、「今までずっと読みたいと思っていた本なので・・・」と、とても感謝されたとのことでした。この録音版市史は、ウェルネスさがみはら内の「保健と福祉のライブラリー」の蔵書となっています。ご利用希望の方は、同ライブラリーへお問い合わせください。（利用できる方は目の不自由な方です。）



問い合わせ先 保健と福祉のライブラリー（ウェルネスさがみはら1階） TEL 042-769-8275

自然編の刊行迫る

市長への概要説明



2月18日（水）、町田自然部会長・岩野編集委員と事務局が、3月刊行予定の市史『自然編』の概要を加山市長に説明しました。自然部会長と編集委員からは市域の自然の特徴や、コラム記事を載せて市民に親しまれる内容を心がけたとの説明がありました。

..... 市史講演会

「日本歴史の中の相模原 — 津久井地域 — (1)」

日 時：平成 21 年 3 月 21 日 (土)
午後 2 時から 4 時
(開場は午後 1 時 30 分)
会 場：相模原市立博物館大会議室
(高根 3-1-15 / 横浜線淵野辺駅下車
徒歩 20 分・路線バスもあります)
定 員：200 名(当日先着順)
受講料：無料 対 象：どなたでも
内 容：旧津久井郡 4 町は県内でも代表的な山間区域ですが、この地域には日本歴史の中でもいくつかの特徴的な歴史があり、隣接する旧相模原市



講師：神崎彰利
(市史編さん室特別顧問)

域とも対照的な歴史性が展開しています。今回はその一つとして、江戸時代を通じて全国で唯一の行政単位であった「津久井『県』」等について紹介します。

21 年度 石造物・景観調査ボランティア 募集!

市史文化遺産編の調査の一環として行う、旧相模原市内の石造物・景観調査のボランティアを募集します、20 年度は各公民館の協力のもと、100 人を越える市民の皆さんの参加をいただきました。21 年度に実施する公民館区は次の通りです。だれにでもできる簡単な調査です。どうぞお気軽にお申込みください。

21 年度実施公民館区 大沢・小山・大野南・新磯・大野北・大野中
星が丘・清新・中央・相模台・東林・上鶴間

対象・申込：各館区内在住・在勤・在学の高校生以上の方、10 人程度。 電話で各公民館又は市史編さん室へ(4 月 28 日まで)。 活動期間：平成 21 年 5 月から平成 22 年 3 月まで。

*お申し込みをされた方を対象に、説明会を 5 月 16 日(土) 午後に予定しています。

相模原市史ノート発刊のお知らせ

「相模原市史ノート第 6 号」 3 月末刊行予定

「座間分離問題」をめぐる政治過程、梅宗寺百観音石塔調査報告、『相模原市史 現代資料編』を読んで、『相模原市史』資料採訪懇談会記録(3)、歴史余話⑥ 相模原—その歴史性—津久井地域(1)などを収録

*「相模原市史ノート第 2 号」を増刷し、3 月末から販売を再開します。

